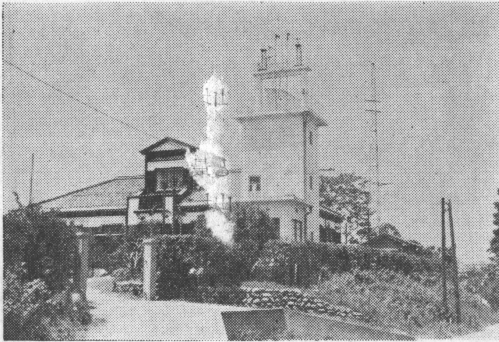
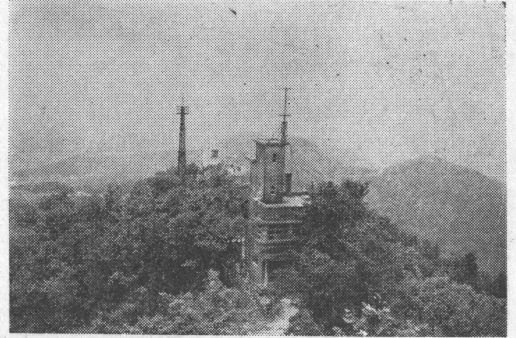


地方だより



岐阜地方気象台



分室、無線中継所

当台のある岐阜市は県南部のわずかな平野部の中程にあり、順調な気候に恵まれています。国鉄東海道線の特急停車駅で観光都市、商工業都市です。しかし水に関することになりますと日本でも有名な大雨地域を三大河川の上流にもっていますので、昔から洪水が多く苦しい経験を持っています。三大河川と申しますのは岐阜市の中央部を長良川、南を木曾川、西を揖斐川が流れ共に水量の多いことは有名であります。長良川の清流は世に有名な鵜飼の行なわれる所であり、天皇陛下もご覧になっております。春から秋にかけては観光客が多く訪れます。この河畔に風光明媚な金華山があり、当台の分室無線中継所があります。歴史上有名な宝暦治水工事の行なわれた千本松原が岐阜市南西35軒の海津郡にあり、ここには薩摩藩の人々を祭った治水神社があります。この地帯は岐阜県の米所ですが古来水害に苦しんだことを物語っています。この付近は昔から輪中という他にあまり類のない水防方式が発達しています。輪中とは部落全体を堤防で囲み、タイラの中に収まった様な格好ですが、輪中そのものが頼りないため住民は長い間水に苦しめられてきました。すなわち輪中の歴史は水との戦いでありました。現在では水の悩みから次第に解放されつつあります。当台は全国でも水利水害の業務の多い所です、恵那、丸山、白鳥、可児川の各通報所も昭和31年に設置され、無線ロボット、長期巻雨量計、隔測自記雨量計等の観測所数は非常に多く、又地形や気候の複雑な府県予報センターであるだけに苦勞の多い官署といえましょう。



メモ
 輪中あつこれ 利根 信濃、吉野各川の下流にも似たものがあるというが、輪中というのは木曾三川デルタ地帯特有の呼び名。大輪中の中に無敵の小輪中がひしめいていたところもある。高須輪中の場合も、百八の小輪中をわかつていたが、いまではほとんどが区画整理などで姿を消した。農村地帯だけでなく、岐阜市の一部や大垣市も輪中の中にはいっている。

宝暦の治水 宝暦四年(一七五四年)徳川幕府が薩摩藩にさせた木曾三川の堤防工事。当時の金で四十万両かかったが、幕府が負担したのはたったの九十八百両だったという。総奉行平田綱負は出資と犠牲者が多かった責任をとって自殺した。この工事が薩摩のつらみを買い、明治維新を促したといわれる。

(三林忠三 記)